

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

| | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 富士市立田子浦中学校 】

| | |
|--------------------------|---|
| 1 実践テーマ | I ・ II ・ III ・ IV ・ V |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 中学3年生132名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) |
| 4 目標 (ねらい) | ・オリンピックやパラリンピックを開催するために多くの人が様々な分野で関わっていることについて理解を深める。 ・オリンピックやパラリンピックを支えている様々な技術について理解を深める。 ↑このような活動を通して、スポーツの楽しみ方、支え方、見方などについての考えを深め、オリンピックやパラリンピックを盛り上げるための提案、自分の関わり方、課題などについて考えを深めていく。 |
| 5 取組内容 | ①「オリンピック、パラリンピックを支えるもの」をテーマに、マインドマップの作成。 ②教師による「オリンピック、パラリンピックを支えるもの」の講義。(マインドマップを広げられるようなテーマで) ③1人1テーマで自分の興味のある課題を設定してテーマ学習。 |
| 6 主な成果 | ・個人テーマを設定したことで、各生徒の興味のある様々な分野にテーマが広がり、多様なレポートが完成した。 ・テーマを設定する中で、オリンピック・パラリンピックについて様々な情報を得た。 ・多くの生徒がオリンピック・パラリンピックへの関心を高め、来年度の開催に向けて、自分にできることやかかわり方を考えることができた。 |
| 7 実践において工夫した点 (事業の特色) | ・学校に整備されつつあるICTを最大限に活用した。 |

| | |
|---------------------|---|
| <p>8 主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 実際に大会の開催に関わった人の話を聞く機会が何度かとれたら、設定するテーマや考え方が変わっていたかもしれない。 • 学校は基本的に1年単位で多くのことが決まっていくので、外部からの人に協力をお願いする場合、日程調整や交渉に手間取り、年度のはじめ（夏休み前）より後半になってしまいかちである。そうすると、他の活動との兼ね合いが難しい場面も多く、理想とする活動が行えない場合があったり、計画を途中で変更せざるをえない場合があったりする。 |
| <p>9 来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 対象としていた学年が卒業を迎えるため、来年度以降は実施する予定はない。 |